



2018

10月の健康コラム

Vol. 115

タバコによる怖い病気を予防しよう

タバコの社会全体に与える損失は？

喫煙による経済損失

喫煙関連疾患による労働量損失	23,596億円
喫煙関連の清掃費用	39億円
喫煙がもたらす火災の消防費用	1,879億円
受動喫煙者の医療費	1,431億円
喫煙者の医療費	16,249億円



計 4.8兆円
2.8兆円

プラスの経済的影響（税収入など）

2018年厚生労働省公表

2017年 全国成人の喫煙率 全体 17.1%

(男 29.4% 女 7.2%)

年代別	男	女
30歳代	39.7%	8.5%
40歳代	39.6%	12.3%
50歳代	33.4%	9.8%



1986年 喫煙率 男 59.7% 女 8.6%

男性の20歳代 67.2%から26.6%に低下

タバコをやめたいと思う 男 26.1% 女 39%

国は2022年度までに成人喫煙率を12%目標

受動喫煙の場所

飲食店	42.4%	遊技場	37.3%
路上	31.7%	職場	30.1%



喫煙の健康影響

喫煙によりほぼすべての臓器に害を及ぼします。

喫煙の妊娠出産などへの影響

妊娠する能力の低下・早期破水・前置胎盤・胎盤異常・早産や妊娠期間の短縮
出産後に、乳児突然死症候群（SIDS：Sudden Infant Death Syndrome）

受動喫煙 — 他人への影響

煙に、ニコチンやタールだけでなく多くの有害物質が含まれている。

受動喫煙による肺癌などにより年間68,000人が死亡

世界的に公共施設などでの禁煙化によって心疾患や呼吸器疾患による入院が減少



若者の健康と喫煙

1. 健康影響が大きい
2. より高度なニコチン依存症に陥りやすい
3. 喫煙以外の薬物依存の入り口となる



女性の喫煙と健康

男性に比べ喫煙率が著明に低いですが、近年、若年の女性の喫煙率が上昇している

肌の老化

女性ホルモンへの影響（生理不順、不妊のリスクが高い、閉経を早める、骨密度低下）

膣炎をおこしやすい

子宮頸部癌の発生率増加

子供への影響

不妊・子宮外妊娠・早産・流産の確率が高い

産後、知能や発育に障害、授乳によるニコチン中毒



スモーカーズフェイス



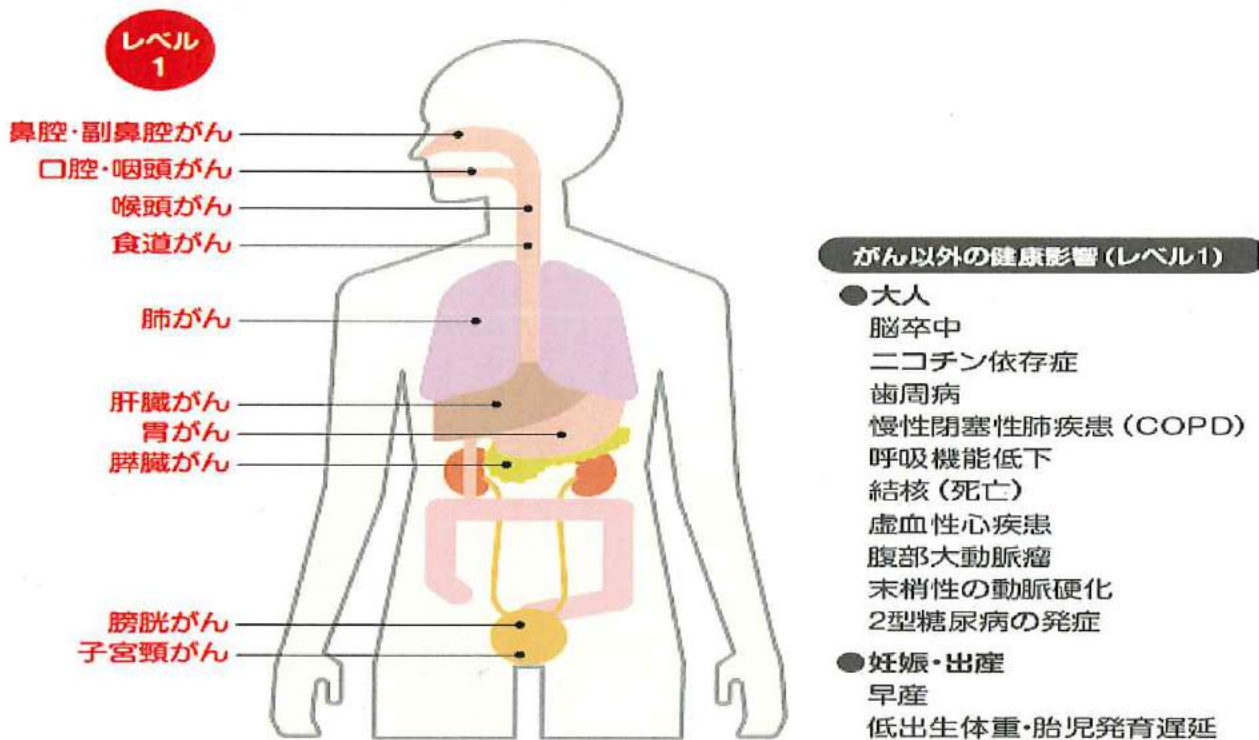
タバコと関連のある癌

喫煙と疾患の因果関係判定

- | | |
|-------|-----------------------------|
| レベル 1 | 科学的証拠は、因果関係を推定するのに十分である |
| レベル 2 | 科学的証拠は、因果関係を示唆しているが十分ではない |
| レベル 3 | 科学的証拠は、因果関係の有無を推定するのに不十分である |
| レベル 4 | 科学的根拠は、因果関係がないことを示唆している |

～喫煙により男性は8年、女性は10年、寿命が縮む～

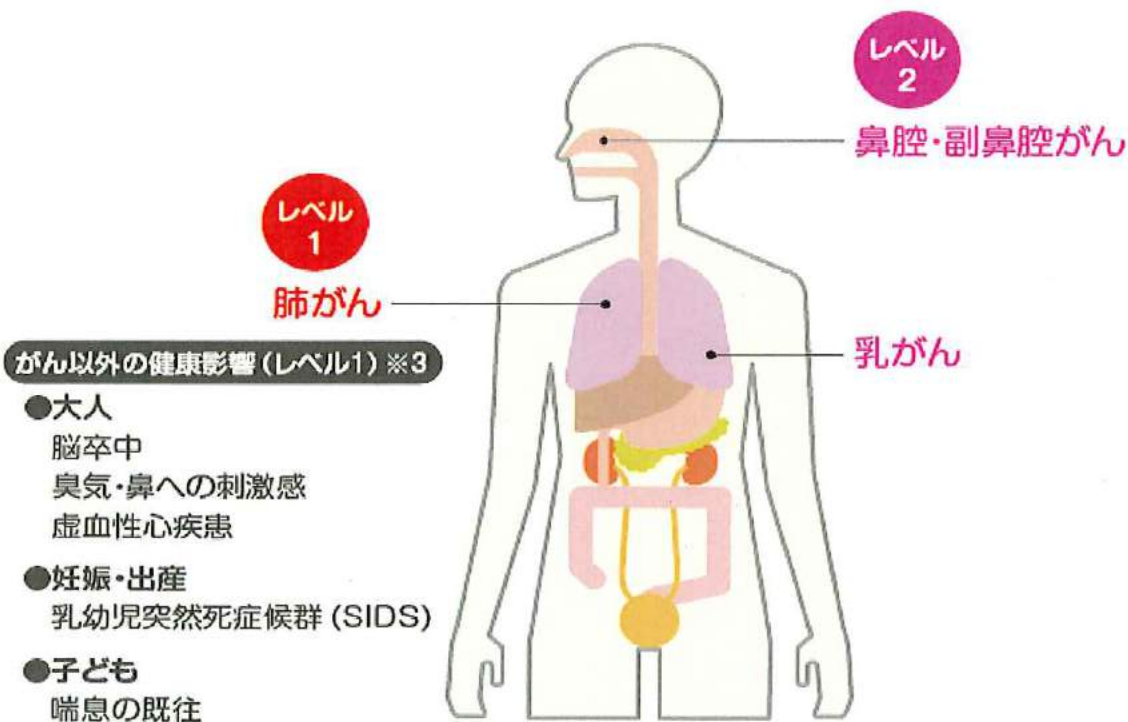
たばこを吸っている本人がなりやすいがんの種類（科学的に明らかなもの：レベル1）



厚生労働省「喫煙と健康 喫煙の健康影響に関する検討会報告書」(2016年)より作成

～受動喫煙による疾病～

たばこを吸う人の周りの人がなりやすいがん (レベル1・レベル2)



厚生労働省「喫煙と健康 喫煙の健康影響に関する検討会報告書」(2016年)より作成



